

平成29・30年度「我が国の伝統や文化に関する教育の充実に係る調査研究」推進地域一覧

	都道府県	推進地域	事業内容
1	茨城県	稲敷市教育委員会	稲敷市の阿波地区に残る伝統芸能「あんば囃子」を、地域の保存会の協力を得ながら、実際に子供たち自身が演奏し、踊る体験を通して、その伝統と継承してきた人々の思いを学ぶ。それによって、自分たちもその伝統の継承者として、地域に自信と誇りをもって生きていくことができるような力を育てる学習プログラムを構築していく。
2	三重県	三重県	地域住民や大学生とともに子供たちが史跡斎宮の体験発掘を行い、自分たちが発見したものの意味を考えるとともに、斎宮跡を活かしたまちづくりに取り組む地域の方々に話を聞く。また、昨年度の同事業で作成したパンフレットを活用し、博物館等との連携を図りながら、子供たちが地域の歴史や文化について自ら学び、より深く考えるための学習活動を広く普及させる。
3	山口県	山口県	地域の活性化を目的につくられ、地域で継承されている「カルスト草炎太鼓」を学校教育に取り入れて受け継いでいく。その際、地域貢献及び小学校・中学校・高等学校の校種間連携を意識し、特別の教科・道徳をはじめ他教科との関連を含めて年間指導計画や「学校地域連携カリキュラム」を見直し、カリキュラムの再構築を図る。
4	徳島県	徳島県	平成29年度に実施した「あわ文化体験学習」等をもとに、中学生が「あわっ子文化大使」となって、徳島県の歴史や文化財を中学生目線で発信する「あわ歴史・文化体験ツアー」の企画及び実施を行う。また、「あわっ子文化大使サポーター」(高校生)の活躍の場の創出に向け、表現力やコミュニケーション能力の向上講習やワークショップを行い、「あわ文化教育」の実践モデルとする。
5	長野県	国立大学法人 信州大学	大町市で使用されている中学校の教科書と各学校の指導計画とを分析し、「伝統や文化」が関係する単元を検討し、中学校のカリキュラムマップを作成する。また、大町市の伝統や文化に関する地域教材のデータベースとなるwebサイトデジタル副読本「大町のひみつ」及び指導資料集も作成する。
6	京都府	国立大学法人 京都教育大学	伝統音楽を教材とした授業開発の一環として、わらべうた・祇園囃子・六斎芸能・箏などを活用した授業のプログラム開発を行う。また、教員研修においては、専門家による伝統音楽の講話・実践とともに、模擬授業の提案や協働での授業開発を行うなど、授業実践へとつながるような研修を開発して地域の伝統音楽の充実に図る。
7	沖縄県	国立大学法人 琉球大学	宮古島・八重山地域の小・中学校を拠点とし、地域の伝統的な言語文化を学び、身近な教材や地域人材の活用を通して言語活動の充実に図り、伝統文化の継承を目的とする。古典に連なる語彙が生活語に生きている琉球列島の言語文化の豊かさを継承する学びにより、我が国の伝統的な言語文化の学習につなげる。